



第1回
定例会

市長公約の実現に向けた予算を可決

～各会計をあわせ総額約1600億円の予算～



定例会の概要

2月24日～3月19日

2月24日に開会した第1回定例会では、21年度補正予算など13件の議案が市長から提案され、それぞれ関係する常任委員会に審査を付託しました。その後の一般質問(2・3面下段に掲載)では、3人の議員が市政について理事者の見解をたずねました。3月3日には、まず委員会審査が終了した13件の議案のうち、議案第5号の21年度一般会計補正予算を除く12件について、各常任委員長から審査結果の報告を受け、満場一致で可決しました。次に、議案第5号について、反対・賛成の討論をそれぞれ行いました。中小企業の振興を図るための基金を商工会議所に寄付することについて、「この寄付は法的根拠に乏しく、基金は市全体の商業振興を担う本市が主体的に活用すべき」とする反対討論と、「商工会議所への寄付は、民間のノウハウを生かし、

第1回定例会では、平成22年度一般会計予算をはじめとする新年度関連の議案や、副市長の人事案件など52件が市長から提案され、原案のとおり可決しました。議員からは、条例の一部改正案や意見書2件を提案し可決しました。

案のうち、議案第5号の21年度一般会計補正予算を除く12件について、各常任委員長から審査結果の報告を受け、満場一致で可決しました。次に、議案第5号について、反対・賛成の討論をそれぞれ行いました。中小企業の振興を図るための基金を商工会議所に寄付することについて、「この寄付は法的根拠に乏しく、基金は市全体の商業振興を担う本市が主体的に活用すべき」とする反対討論と、「商工会議所への寄付は、民間のノウハウを生かし、本市の経済に活力を与えるための基盤となる」とする賛成討論があり、起立表決を行った結果、賛成多数で原案を可決しました。続いて、22年度の市政運営の大綱となる予算や関連する36件の議案を議題とし、市長から施政方針が表明されました。8・9日には各会派の代表者による総括質問(2・3面に掲載)を行った後、予算特別委員会を設置し、新年度予算など関連議案の審査を付託しました。10日から17日まで開いた予算特別委員会では、予算が事業の重要性や費用対効果を考慮し編成されているか、透明性が確保され、市民本位の行政運営となっているかなどに主眼を置き、詳細な審査を行いました。19日には予算特別委員長から審査結果の報告を受け、反対・賛成の討論をそれぞれ行いました。

議会を傍聴しませんか

平成22年第2回定例会予定

傍聴される人は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。

- ▼6月17日(木) 本会議
- ▼6月18日(金) 本会議
- ▼6月22日(火) 文教民生常任委員会
- ▼6月23日(水) 事業常任委員会
- ▼6月24日(木) 総務常任委員会
- ▼6月25日(金) 本会議

※開会時刻は、いずれも午前10時の予定です。
※日程は、変更される場合があります。

予算特別委員長報告(要旨)

新年度関連議案を審査

「市民負担を強いる『きしわだ行政再生プラン』を基本とする予算編成となっている。また、健全な財政、持続可能な行政運営に逆行する予算編成となっている」とする反対討論と、「市民の生活に深くかわりのある健康や子育て、教育など、責任を持った予算編成である」とする賛成討論があり、起立表決を行った結果、賛成多数で可決しました。最後に、議会運営委員会の特定事件については、閉会中も継続して調査することに決定し、閉会しました。

予算特別委員

提案された22年度予算及び関連諸議案には、少子化対策や子育て支援のための乳幼児医療費助成の拡充、東岸和田駅周辺のまちづくりや高架化工事、小・中学校の耐震化設計や工事など、市民福祉の向上や将来のまちづくりに向けた真剣な取り組みが認められるため、賛成多数で可決しました。

主な意見・要望

▽市民センターの未設置地域への早期設置を
▽市民病院は、医師及び看護士の確保と産科の早期再開を

▽子宮頸がんワクチンの公費助成の実施を
▽予算編成に際しては健全な財政をめざし、持続可能な行政運営を
▽多様化、複雑化する市民ニーズや行政課題に対応するため、各部課横断的に議論・研究できる組織の立ち上げを
▽中学校給食の完全実施のため、早急に具体的なプランの策定を
▽創造のまちづくり実現には、人材が必要であり、今後、より一層の人材育成のための教育への取り組みを

◎井上孝三郎
◎澤榮一
◎米田貴志
◎清水隆司
◎松本妙子
◎信貴芳則
◎雪本清浩
◎大松政司
◎西村芳徳
◎中井良介
◎岸田幸夫
◎山田夫

◎委員長
◎副委員長